

部活動指導方針

(1)概要

部活動とは、学校教育の一環として位置づけられた教育課程外の学校教育活動であり、校長が認めた指導者（部活動顧問）のもと、主に放課後や休日等に行われる活動のことである。部活動にはスポーツや文化、科学等に興味・関心をもつ同好の生徒が自主的に参加し、部員相互の切磋琢磨や自己の能力に応じてより高い水準の知識、技術や記録を追求することを通して、活動そのものの楽しさや喜びを味わうとともに、互いに教えあったり、励まし合ったりしながら、自主性や社会性を育て、互いを思いやる心や人間関係をはぐくむことが期待できる。部活動は、豊かで充実した学校生活を創造するものである。

宇都宮市における部活動のねらい

- ①生涯をとおして実践できるスポーツ・文化的活動に関わる知識や技能の習得を図り、生涯学習の基礎を培う。
- ②友だちや、異学年の生徒・顧問等とのかかわりをとおして、豊かな人間関係を構築し、社会性や協調性を身に付ける。
- ③自主的・自発的にスポーツ・文化課活動に取り組み、自己の目標に向かって努力することにより、強い精神力や忍耐力を身に付ける。

(2)学校教育目標との関連

学校教育目標

豊かな心と健やかな身体をもち、自ら考え行動するなど、意欲をもって自主的、創造的に生きることができ、日本はもとより国際社会に貢献できる人間を育成する。



本校の部活動の目標

本校の教育目標を達成するために、運動や文化的活動に親しませ、学習意欲の向上や連帯感の涵養、体力の向上、人格の陶冶に資する。



令和5年度の重点目標

- ①部活動を通して、言葉遣い、返事やあいさつといった好ましい礼儀やマナーを身に付ける。
- ②部活動を通して、協力しあい友情を深め、好ましい人間関係を築く力を身に付ける。

(3)指導・運営における具体方針

- ①部活動の指導にあたっては、顧問の意思のみで行われることなく、学校教育活動の一環として学校長を中心とした責任体制の下、学校の指導方針に沿って運営する。
- ②生徒が豊かな学校生活を送りながら人間的に成長していくという部活動の基本的意義をふまえ、勝利至上主義に陥ることなく、生徒の主体性や個性、意思を尊重した運営に努める。
- ③競技志向や楽しみ志向、仲間づくり思考や健康志向など、生徒の多様なニーズに配慮し、一人ひとりが自己実現できるような指導に努める。
- ④バランスのとれた生活の実現やスポーツ障害を予防する観点から、練習日数や練習時間、休養日を適切に設定する。
《週当たり2日以上 of 休養日を設ける。平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする。1日の活動時間は、長くとも平日で2時間程度、学校の休業日は3時間程度とする》
- ⑤一部教職員の過剰な負担にならぬよう、教職員の協力、連携のもとに部活動を運営する。